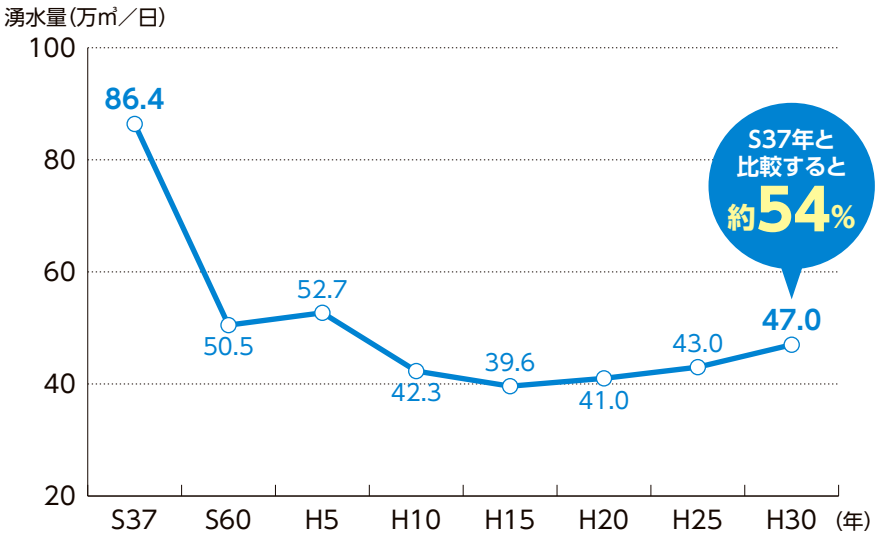
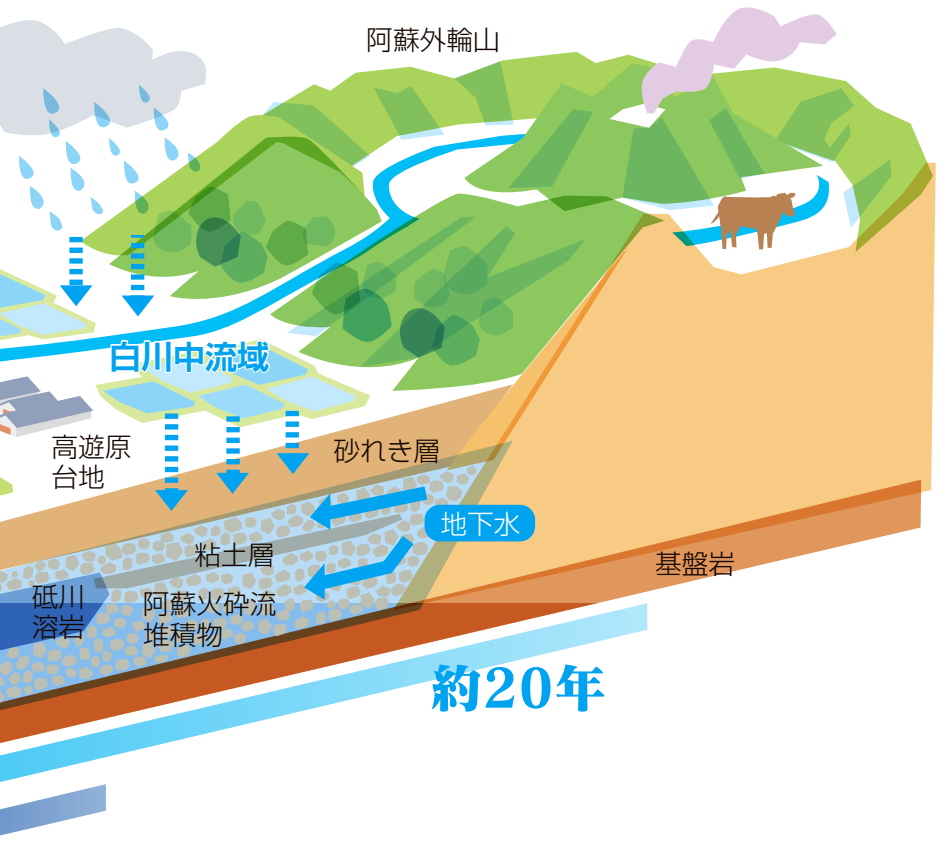
江津湖の湧水量の推移

熊本の水のシンボルである江津湖の湧水量は、昭和37年の86.4万㎥/日と比べるとわずか半分ほどに減っています。理由は地下水かん養域の都市化や減反によるものです。近年は白川中流域のかん養事業などさまざまな取り組みが功を奏し、水量は回復傾向にありますが、かけがえのない資源を守るために、引き続き取り組んでいく必要があります。



※水前寺江津湖における湧水量の推移(東海大学、くまもと地下水財団、熊本県、熊本市調べ)



下江津湖

堆肥購入で地下水保全!?

家畜排せつ物等に含まれる窒素が過剰に地下に浸透すると、地下水が硝酸性窒素で汚染される原因となります。そこで本市では、地下水を硝酸性窒素汚染から守るため、さまざまな取り組みを行っています。その一つとして、地下水の重要なかん養域である東部地域の硝酸性窒素を削減するため、平成31年に東部堆肥センターを設置。牛の排せつ物から堆肥を生産・販売し、地下水の水質保全に役立てています。

東部堆肥センターで生産した堆肥を購入して、地下水の水質を守りましょう。

東部堆肥センターとは

東部地区の畜産農家が利用している施設で、地下水汚染防止と飼養にともなう臭気発散の軽減に役立っています。

熊本市東部堆肥センター　検索

(東部堆肥センター　☎096-388-1510)

「くまもと地下水財団」の活動に参加しませんか？

1 水田オーナー制度

米作りを通して、田んぼと地下水の保全に参加する取り組みです。

米作りは、田んぼに長期間水をためるので、その間たくさんの地下水をかん養します。

現在、令和３年度の水田オーナー(企業・団体、家族など)を募集しています。

2 地下水保全顕彰制度

熊本地域において地下水保全活動を行う事業者・団体の諸活動を顕彰し、その活動を広く周知する制度です。

顕彰は活動内容によりゴールド、シルバー、ブロンズの3つのランクを決め、認定書を授与します。

くまもと地下水財団とは

住民・事業者・行政等が一体となって、熊本の宝である清らかで豊かな熊本地域(本市を含む11市町村)の地下水を未来に残すために、平成24年に発足した公益財団法人です。住民、事業者の方々が参加できる活動など、さまざまな地下水保全活動を実施しています。

くまもと地下水財団　検索

(水保全課　☎096-328-2436)

くまもとさん 146

作：桜田幸子